

ごあいさつ



「令和」という新しい時代の幕開けから2年が経とうとしておりますが、町ではこのたび、令和3年度から令和12年度までの10年間のまちづくりの目標と方向性を示す、第5次六戸町総合振興計画を策定しました。

平成23年3月に第4次総合振興計画を策定し、この10年間、町の特性、資源を最大限に生かしながら、人と人、町民と行政が協働して暮らす場所としての質の向上、活力と交流あふれるまちづくりを推進してまいりました。

この10年間には、大地震や大雨等いわゆる「想定外」の自然災害が頻繁に発生し、地球環境問題が深刻化する中で、人口減少・少子高齢化への歯止めが効かず、加えて新型コロナウイルス感染症の出現により、世界的規模で人々の生活が制約を受け、あらゆる分野において先行きの見えない中での対応が続いております。

幸い本町では大きな災害もなく、比較的安全・安心な人々の生活が維持されてきておりますし、各種施策により県内でも数少ない人口が増加している町として知られるようになりました。しかしながら、これまでに経験したことのない社会環境の変化が進行する中、新たな地域課題や多様化する住民ニーズに柔軟かつ適切に応えながら、未来に繋がる持続可能なまちづくりを進めることがこれまで以上に求められています。

本計画に掲げる町の将来像は、すべての分野にわたり、「住まうまち」としての質の向上、「活力と交流」の創出、「自律」のまちづくりを進め、子どもから高齢者まですべての町民がやすらぎと感動に満ちた人生を実感できる定住拠点をつくり上げていくという思いを込め、前計画に引き続き「恵みの大地と人が結び合うやすらぎと感動の定住拠点・六戸」と決めました。

町はこの将来像の実現に向け全力で取り組んでまいりますが、これからのまちづくりにおいては、町民をはじめとする多様な主体の参画・協働に加え、地域コミュニティの活性化がますます重要になってまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、ご審議を賜りました町総合開発審議会委員の皆様をはじめ、町民アンケート、小・中学生及び高校生アンケート、各種団体へのグループインタビュー、まちづくり委員会、パブリックコメントなどにおいて貴重なご意見やご提言をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

六戸町長 吉田 豊